

## ★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

## ★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

※11月は定員に達しましたので締め切りました。

《10月のおはなし会で使った本》

『ひこうきくんとおふねさん』 とよたかずひこ/脚本・絵 童心社 2022.6

『おめんです 2』 いしかわこうじ/作・絵 偕成社 2018.2

『ハロウィンのかくれんぼ』 いしかわこうじ/作・絵 ポプラ社 2019.10

## ★「第3回新刊児童書閲覧会」

○日時：令和4年12月14日（水）～12月18日（日）9：00～17：00

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしょじつ 3F）

○対象：市町立図書館職員、学校図書館関係者、ボランティア関係者、子どもの本に関心のある方

○定員：一人1時間、各時間帯10名程度（要申込み）

○申込方法：FAXまたは電子メール（HP上の参加申込書をダウンロードしてご利用ください。）

○申込締切：令和4年10月12日（水）17時（定員になり次第締め切り） ○参加費：無料

○申込み・連絡先：山口県子ども読書支援センター

（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

## 【新刊紹介】価格は消費税抜き

## ＜絵本－乳幼児から＞

『リモコン』 新井洋行/作・絵 くもん出版 2022.8 ¥900

この絵本はリモコン。ボタンを押してみても。押したら前にいる人が…。ほらリモコンだったでしょ？次はどんなリモコンかな？変わった顔、おどろいた顔、おこった顔、ないた顔、いろいろな顔のボタンのリモコンだ！お次は「ドンッ」「ピチョン」「ムニュ」「ブリブリ」など、面白い音が出るリモコン。絵本のリモコンボタンを押して自由な発想でごっこ遊びができる楽しい絵本。

## ＜絵本－3, 4歳から＞

『あのこ』 榎朋朋巳/作 ブロンズ新社 2022.9 ¥1300

ちいさいあのこは、いつも小さな窓からいろんなものをもってやってくる。ちいさなとり、ちいさいラッパ、ちいさなおさかな、あのこがもってくるものは、みんなちいさい。時こは、もじゃもじゃのかつらとおひげで変装してやってきたり、おともだちをつれてきたり…。あのこがすすりモラスで楽しくて優しい時間。あたたかみのある銅版画で描かれた可愛い絵本。

## ＜絵本－5, 6歳から＞

『ぼくとお山と羊のセーター』 飯野孫好/作 偕成社 2022.10 ¥1400

山間のたった3軒の家しかない集落で育った著者の少年時代。畑を耕し、羊やにわとりやうさぎを飼い、お蚕さまを育て、干し柿を作り、お茶も自家製の自給自足の生活。春に羊の毛でセーターを作ってもらうのを心待ちにする様子を、四季の移り変わりとともに描く。においまで漂ってくるような山の風景や、動物たちの味わい深い絵。生きる力が漲ってくる力強くたくましい絵本。

## ＜絵本－小学校低学年から＞

『キーウの月』 ジャンニ・ロダリー/作 ペアトリーチェ・アレマーニヤ/絵 内田洋子/訳 講談社 2022.8 ¥1200

「わたしの光はパスポートなしで旅をします」世界中のどこからみても月はひとつ。キーウから見える月も、わたしたちがみあげている月と同じ。イタリアの世界的児童文学作家、ジャンニ・ロダリーによる詩と、世界で活躍するイラストレーターが温かみのある落ち着いた優しい色調の画で寄り添う。平和への祈りがこめられた美しい絵本。ウクライナ救援のため緊急出版。

## ＜絵本－小学校中学年から＞

『橋の上で』 湯本香樹実/文 酒井駒子/絵 河出書房新社 2022.9 ¥1500

橋の上で川を見ていた。雪柄のセーターを着たおじさんが、いつのまにか僕の隣に立っていて、「川が好き？」と聞いた。「べつに。見てただけ」と僕は答えた。本当は、今ここから川にとびこんだらどうなるだろうって考えてた。そんな僕におじさんは、自分だけのみずうみがあるんだよ、と話してくれた…。黒を基調とした美しい絵。『くまとやまねこ』の二人によるいのちの物語。

## ＜絵本－中学生から＞

『旅のネコと神社のクスノキ』 池澤夏樹/文 黒田征太郎/絵 スイッチ・パブリッシング 2022.8 ¥1700

芥川賞作家・池澤夏樹と画家・黒田征太郎によって、被爆建物「旧広島陸軍被服支廠」を舞台に、言葉と絵と木工作品で創られた絵本。ネコとクスノキの対話を通して、戦争・平和・命について考えさせる物語「ダイアログ」と、池澤による解説「ヒストリー」の2章で構成。「ヒストリー」では、広島惨状だけでなく、1943年春の駆逐艦「秋風」事件にも言及。

## ＜読み物－小学校低学年から＞

『三まいのはがき』 おくやまゆか/さく 福音館書店 2022.9 ¥1100

ある休日、郵便受けにゆうた宛のはがきが3枚届く。差出人は、ナメヨ・ガマコ・ニョロミ。それぞれが家に招待してくれるという。訪ねた先で食べ慣れない物が出され憂鬱なゆうた。さらにニョロミの家から帰る間際に、ナメヨとガマコも来てゆうたを取り

合うことに…。不器用なおもてなしにほっこりする物語。作者は絵本作家、マンガ家として活動する傍ら図書館職員としても勤務。

#### <読み物—小学校中学年から>

『父さんのゾウ』 ピーター・カーナバス/作 美馬しょうこ/訳 文研出版 2022.8 ¥1400

小学生の女の子オリブは、いつも父さんの隣に大きなゾウがいるのが見える。父さんはその悲しみでいつもどんよりしている。オリブが見ているゾウは、父さんの悲しみだった。オリブは、おじいちゃんと親友のアーサーに協力してもらってゾウをおっぱらおうとするが…。オリブの奮闘に心動かされる物語。オーストラリアのクイーンズランド文学賞児童書部門大賞受賞作。

『まちのおばけずかん ハイ!』 斎藤洋/作 宮本えつよし/絵 講談社 2022.8 ¥1250

大人気「おばけずかん」シリーズのおばけの話をさらに詳しくさらに怖く描かれた「おばけずかんハイ!」シリーズ第2弾。ハイは《はい、どうぞ!》の《はい》であり《ハイ・クラス》の《ハイ》。のっぺらぼうや橋女など、昔からいるおばけはもちろん、すけぼうやスマホールなど新しいおばけも登場。まちのおばけの話全13話を収録。目次には、話のこわさ度(☆三段階)付き。

#### <読み物—小学校高学年から>

『金曜日のヤマアラシ』 蓼内明子/著 中田いくみ/装画 アリス館 2022.6 ¥1400

お母さんを病気で亡くした小学6年生の女の子ウタ。今はフィギュアの原型師であるお父さんと二人暮らし。ある時、クラスに日に焼けた手足の長い男の子桐林が転校してきた。言い方はきついし、時々いらんでくる桐林にヤマアラシを思い浮かべるウタだったが、ささいなことウタと桐林の仲をクラスメイトに誤解され…。不器用だけれどまっすぐなウタの姿を描く青春ストーリー。

『ラスト・チェリー・プロッサム』 キャサリン・パーキンショー/作 吉井知代子/訳 ほるぷ出版 2022.8 ¥1500

広島に住む小学生のユリコは、新聞社を経営する父と叔母一家と裕福な環境で暮らしていた。しかし昭和20年8月6日の原子爆弾によりユリコの生活は一変し…。作者は日系アメリカ人で、作者の母であるユリコの体験をもとに描かれた物語。本作は国連軍縮部による教員と生徒向け推薦図書に選定されたほか、アメリカ各州での推薦図書に選定され多くの学校で読まれている。

#### <ノンフィクション—小学校低学年から>

『かみなり』 妹尾堅一郎/監修 音羽電機工業「雷写真コンテスト」/協力 ポプラ社 2022.7 ¥1600

空を走る稲妻。その決定的瞬間をとらえた写真で構成された写真絵本。これまでの「雷写真コンテスト」入賞作品より厳選された迫力満点の写真が並ぶ。監修は、雷対策に長年取り組み雷文化への造詣が深い専門家。巻末に、雷の不思議や対応について分かりやすいイラストや図による説明あり。雷の疑問に答える動画のQRコード付。シリーズ「ふしぎいっぱい写真絵本39」。

#### <ノンフィクション—小学校中学年から>

『核兵器をなくすと世界が決めた日』 川崎哲/監修・解説 高橋真樹・岩崎由美子/文 TOTO/絵 大月書店 2022.7 ¥1600

世界中の核兵器の被害者たちが訴え続け、専門家が声をあげ、みんなが行動して生まれた核兵器禁止条約。条約が締結されるまでの物語が広島原爆投下や南の海の核実験で被曝した子どもたちの視点から綴られる。監修・解説者はICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)国際運営委員。見返しに各国の核兵器保有数、核兵器禁止条約の署名国・批准国の地図あり。英訳併記有り。

#### <ノンフィクション—小学校高学年から>

『しまずかん』 こにしけい・たきざわしょうたろう・しまもりつこ/著 講談社 2022.8 ¥1600

日本には約7000もの島がある。その中でも個性的な50の島をキャラクター化し、島たちのつづやきをユーモラスなイラストとともに紹介する。また「しまちしき」として各島の特色ある文化や歴史、自然についても解説。筆者は大学で軍艦島を研究。そこで気づいたという島のおもしろさが、分かりやすく口語で綴られている。身近な島についてもっと知りたくなる一冊。

『その事件、こども弁護士におまかせ!こども六法ノベル』 山崎一郎/原案 岩佐まもる/著 飯田亮真/監修 KADOKAWA 2022.7 ¥1200

司法試験に合格した未成年の子どもが「こども弁護士」として活躍する世界。中学1年生の祐樹は、高校2年生で「こども弁護士」でもある姉、智紘の事務所を手伝っている。ある日祐樹のクラスメイトが万引きで捕まったといううわさが流れ…。日常起こりうる出来事に関連した法律を分かりやすく解説しながらストーリーが展開される。3話収録。こども六法シリーズ。

#### <読み物—中学生から>

『グレイッシュ』 大島恵真/作 文研出版 2022.6 ¥1500

中2の森山みゆは、両親と3人暮らし。ある日、同級生の林原さんに誘われて放課後スケッチクラブに通うことに。美術教師立花先生やクラブに集まる生徒たちとかかわるうちに、自分や両親がまもっている「何か」に気づき、庭で見つけた小さな灰色の蝶の蛹を連れて、祖母の家へ。追いかけてきた林原さんも一緒に、両親と向きあい…。壊れかけた少女が希望を見つけるまでの物語。

#### <ノンフィクション—中学生から>

『中学生のためのテストの段取り講座』 坂口恭平/著 晶文社 2022.7 ¥1300

著者は、作家・画家・音楽家・建築家など、多彩な活動をしながら、2012年から自身の携帯電話の番号を公開し、「いのちの電話」として、年間1万人の電話を受け続けている。本書は、「テスト」に目的意識をもち、目的のための「スケジュール表」を作成するなど、全10講座で構成。これからの時代を生きていくためのスキル集。著者の携帯電話の番号の掲載あり。

#### <研究書>

『絵本で学ぶSDGs 地球の未来を考える』 絵本でSDGs推進協会/編 平凡社 2022.9 ¥2400

SDGsが目指す17のゴールに沿って、目標ごとに5冊程度ずつ絵本を紹介。かこさとし、長野ヒデ子、長谷川義史など、よく知られた日本の絵本から、最近の外国の絵本まで、多彩な絵本を掲載。巻頭にSDGsの基礎知識、巻末にSDGsをテーマにした編集者と3人の作家との往復書簡で構成。真珠まりこのインタビュー記事やコラムの中でも数多くの絵本を取り上げてある。

『知識の海へ』 東京子ども図書館/編 東京子ども図書館 2022.8 ¥3600

1950年代～2020年に刊行された幼児～中学・高校生向けのノンフィクション作品の中から、東京子ども図書館でくりかえし読まれてきた幅広いジャンルの約1500冊を紹介。普遍的な内容のものから、最近の新しい情報まで網羅している。2012年刊『絵本の庭へ』・2017年刊『物語の森へ』に続く、東京子ども図書館による児童図書館基本蔵書目録(全3巻)。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

